

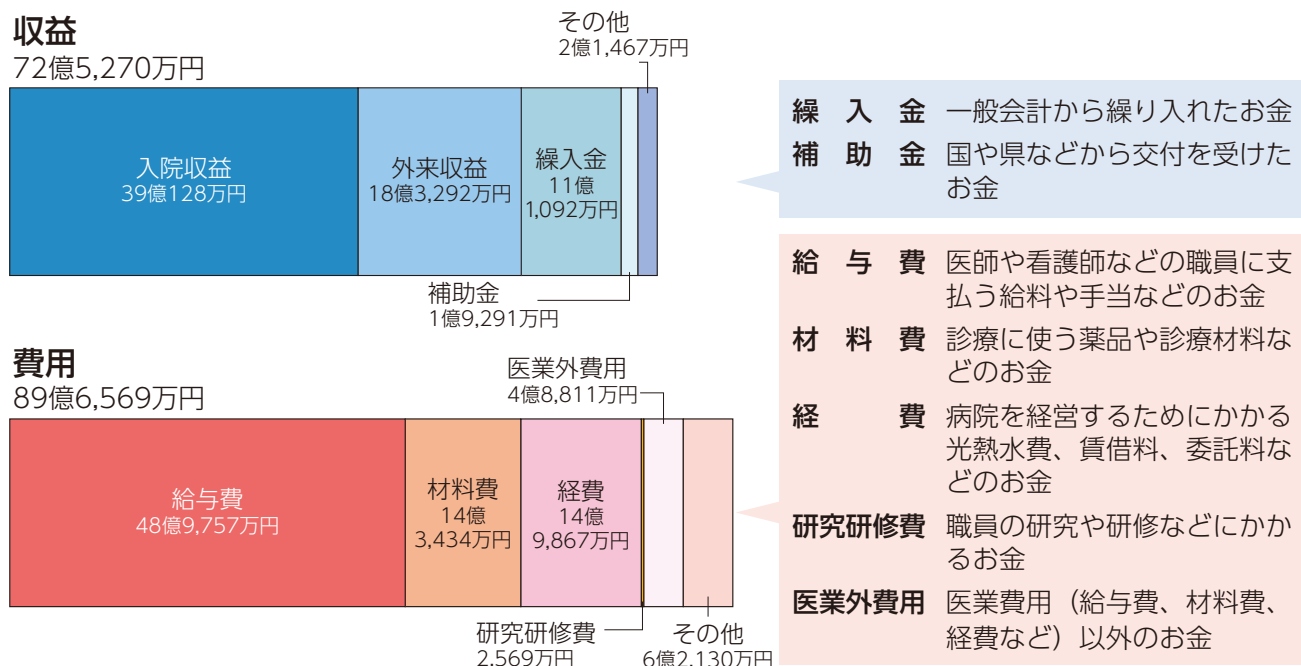
令和7年度病院事業会計決算報告

令和7年度決算は過去最大の赤字に

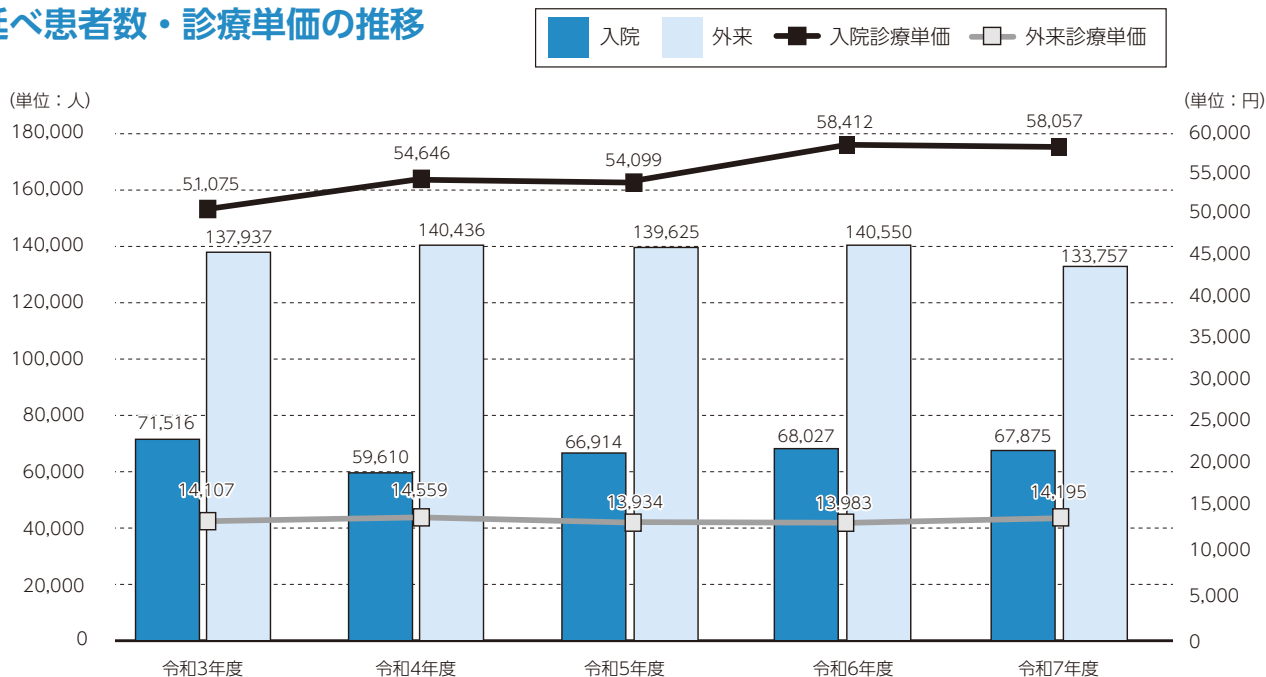
人事院勧告に伴う給与費の増加、物価高騰による経費全般の増加などにより、市の病院事業会計は令和7年度決算において過去最大の赤字を計上しました。

令和7年度の収益は72億5,270万円、費用は89億6,569万円で、17億1,299万円の赤字となりました。入院・外来患者数及び入院診療単価の減少によって医業収益が減少した一方で、主に給与費の増加によって医業費用は大幅な増加となりました。

収益・費用の内訳 (金額は全て1万円未満四捨五入/端数処理の関係で合計が一致しない場合あり)



延べ患者数・診療単価の推移



入院延べ患者数（退院含む）は67,875人（1日平均186.0人）で前年度に比べ152人の減、外来延べ患者数（時間外含む）は133,757人（1日平均552.7人）で前年度に比べ6,793人の減となりました。また、入院患者一人当たりの診療単価は58,057円、外来患者一人当たりの診療単価は14,195円となりました。